



織機を操る千葉孝順さん



1. 豊田式鉄製小幅動力織機 (Y式)。1世紀の時を経て、今も現役で動いている 2. 織りの状態を目と手で確かめる。糸が切れそうな状態など、異変を瞬時に見極める 3. 縞模様が特徴の若柳地織。7色の綿糸を組み合わせ、さまざまなパターンで織り上げる

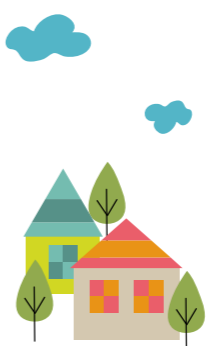
問い合わせ  
織元 千葉孝機業場  
〒989-5501  
栗原市若柳字川北塚ノ越 12  
TEL 0228-32-3087

# 技の肖像

宅地建物取引士は、宅地や建物の売買・賃貸の仲介などの専門家。法律の知識を使って、不動産の取引を手助けします。取引前の買主・借主に対する物件の説明など、宅地建

## 不動産の取引を行う「宅地建物取引士」

一生に一度の大きな買い物ともいえる住まいを提供する建設業界。住宅の購入者との信頼関係を築くため、専門的な技能や知識を持つたくさんの人が関わっています。



二級建築士は、都道府県知事の免許を受け、一定規模以下の建築物の設計を、木造建築士はさらに小規模の木造建築物の設計を行うことができます。

建築士は、安全で快適な建物を作るために建築物の設計や工事監理などを行う仕事で、一級建築士・二級建築士・木造建築士の3つがあります。建築士の資格試験は、「学科の試験」と「設計製図の試験」に分かれています。一級建築士は、国土交通大臣の免許を受け、個人住宅から学校・病院など、さまざまな建築物の設計を行います。さらに、一定規模以上の建築物において、構造や設備が基準に適合するように設計を行う構造設計一級建築士と設備設計一級建築士がいます。これらの資格は、それぞれ決められた業務経験を満たし、講習を修了すると取得できます。

## 特集 業界の勉強

# 住まいづくりを支える仕事

「業界の勉強」では、仕事図鑑で取り上げた業界ならではの知識や資格などについて解説します。今回は、住まいに関わる仕事について紹介します。

物取引士にしかできない仕事は法律で定められています。

宅地建物取引士の資格試験には、年齢・学歴・実務経験などの制限はなく、筆記試験に合格すれば取得できます。資格を持っていても、実際に仕事をするためには、都道府県へ登録と、宅地建物取引士証の交付が必要です。登録をするためには、2年以上の実務経験か、実務講習を修了する必要があります。

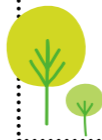
## 住まいの設計や工事を監督する「建築士」



## 住空間を作るための提案を行う「インテリアコーディネーター」

快適な住空間の提案を行うインテリアコーディネーターは、インテリアに関する幅広い知識をもとに、住宅や部屋の内装や照明、家具などのプランニングや商品選択のアドバイスを行います。建設会社や設計事務所、デザイン業界など住まいづくりに関連するさまざまな場所で活躍することができます。インテリアコーディネーターの受験資格には年齢・学歴・実務経験などの制限はありません。1次試験では商品や販売、技術に関する基礎知識が問われ、2次試験では、論文とプレゼンテーションによる試験があります。

## 庭づくりのエキスパート「造園技能士」



造園技能士は、住宅の庭づくりや庭木・街路樹などの手入れといった造園に関する高い知識と技術力を持つ職人です。資格は1級〜3級まであり、決められた年数以上の実務経験を満たした後、技能検定に合格すれば取得できます。技能検定には、庭園の種類、施工法、材料などの知識について答える学科試験と、竹垣の制作や敷石の配置といった課題を行う実技試験に分かれています。

## 若柳地織

〈栗原市〉

若柳地織の歴史は、明治末期までさかのぼる。県北で呉服屋の番頭をしていた千葉孝治氏が、絹より手ごろな木綿に注目し、手織りによる綿織物の生産を始めた。1915年、豊田式鉄製小幅動力織機 (Y式) を23台導入し、今の場所に工場を建てた。木綿そのものが持つ柔らかさを生かすため、若柳地織では紡績機から紡いだ糸をより合わせない「単糸」を使う。朱色や紺色など7種類の糸で染めた糸を組み合わせて柄目を作り、機械で織り上げる。「この機械は、豊田佐吉翁 (トヨタグループ創始者) が肌着やガーゼを織るために考案されたそうです。今の機械よりもタテ糸を緩くして低速で織る。若柳地織の肌触りと風合いは、この機械だから生み出せます」そう話す3代目の千葉孝順さん (66) は、

高校を卒業してすぐに工場に入った。ばらばらにした1台の織機を「まずは自分で組み立てるように」と父に言われて以来、織機のメンテナンスや修理はすべて自分で行ってきた。純正品が手に入らない部品交換は、類似品を加工して使用。今では、それぞれの織機の微妙な癖まで熟知している。化学繊維や安価な外国産綿製品に押され、かつて県内に13軒あった綿織物業者は次々と廃業した。ここ1軒を残すのみとなったが、震災を乗り越え残った6台の織機が、今もなお柔らかな生地を織り続ける。「この機械を導入して今年でちょうど100年。これからも機械が動く限り、看板は降ろせないね。そうつぶやきながら孝順さんは、苦楽を共にしてきた織機を感慨深げに見つめていた。

## 仕事図鑑・用語解説

### まど間取り -P.4

建築物の内部における部屋や区画の配置を示す。部屋の数と、リビング(L)、ダイニング(D)、キッチン(K)の有無を、3LDKというように、数字とアルファベットで表記することが多い。

### 家事動線 -P.8

炊事や洗濯など家事をする時に人が動く経路のこと。家事動線は家事の効率に大きな影響を及ぼす。また、家族の生活経路を整理したものを「生活動線」、高齢者や病人を介護・介助するための経路を「介護・介助動線」などと呼ぶ。これら動線がスムーズな住宅ほど、暮らしやすく快適な住まいといえる。



## そのほかには、どんな仕事があるの？

- 外壁診断士**  
設計から工事、メンテナンスまで外壁に関するアドバイスを行います。
- 瓦屋根工事技士**  
瓦ぶき工事の監督を行います。資格取得には3年以上の実務経験が必要。
- 塗装技士**  
塗装に関する一定の技能と知識を持っていると国から認められた職人です。
- ブロック塀診断士**  
地震によるブロック塀の倒壊などを防止するため、既設ブロック塀の調査・点検を行い塀の性能について評価します。
- 窓装飾プランナー**  
カーテン・ブラインド・スクリーンなどについてデザインや機能、価格を考慮しながら提案する専門家です。